

## 平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月14日

上場会社名 福井コンピュータ株式会社  
 コード番号 9790 URL <http://www.fukuicompu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 真  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 林 治克  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

上場取引所 東

TEL 0776-53-9200

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	3,283	—	50	—	59	—	△166	—
20年3月期第2四半期	3,657	2.2	348	△27.2	376	△16.9	201	△43.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	△13.16	—
20年3月期第2四半期	15.93	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	7,770	5,872	5,872	75.6	75.6	464.95
20年3月期	8,614	6,393	6,393	74.2	74.2	506.21

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 5,872百万円 20年3月期 6,393百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.00	—	22.00	27.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 有

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,614	△12.6	156	△79.6	177	△78.4	△57	—	△4.51

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名 ) 除外 一社(社名 )

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ 定性的情報・財務諸表等 4. その他をご覧ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 13,295,000株 20年3月期 13,295,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 664,281株 20年3月期 664,081株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 12,630,836株 20年3月期第2四半期 12,630,966株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、9月中旬の米証券大手の破たんにより世界レベルで金融危機が急速に拡大しました。

建設業界では、信用収縮や資金繰りの問題から、事業計画を見直すなど依然として厳しい環境でありました。

このような経済状況のもとで、当社グループ（当社及び連結子会社）における当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高3,283百万円、営業利益50百万円、経常利益59百万円、四半期純損失166百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①建設業系CAD事業

## 建築CADソフトウェア

建築業界では、昨年6月の建築基準法改正を受け着工件数が減少した影響により、今年度において資金繰りを要因とした倒産・廃業が相次ぎました。そのため法改正対応の取り組みに加え、顧客獲得を目的とした「営業プレゼンセット」の販売及び既存ユーザーへの施策強化を行ないました。この結果、建築CADソフトウェアの売上高は1,604百万円となり、前年同期に比べ、205百万円の減少となりました。

## 測量CADソフトウェア

測量業界では、政府の公共事業削減の影響を受け、厳しい状況が続いておりますが、主に複数本使用顧客に対する優遇策を実施し拡販に努めました。この結果、測量CADソフトウェアの売上高は791百万円となり、前年同期に比べ、23百万円の減少となりました。

## 土木CADソフトウェア

土木業界では、地方自治体の建設CALS/ECへの取り組みが進められる中、土木施工業者を対象にEX-TREND武蔵の活用セミナーを開催し、加えて体験版を配布するなど、市場に積極的な働きかけを行ないましたが、暫定税率失効による公共投資額の減少が影響し、新規購入者数が減少しました。この結果、土木CADソフトウェアの売上高は441百万円となり、前年同期に比べ、67百万円の減少となりました。

これらの要因により営業利益は533百万円となりました。

## ②メディカルフィットネス事業

メディカルフィットネス事業につきましては、法改正等を機に介護市場は活性化してきており、当社の掲げるメディカルフィットネス構想に賛同される業界関係者は多いものの、市場においては投資が進んでおらず、導入に向けてシステムの有用性や将来性の理解を求めながら営業活動を行ないました。この結果、当第2四半期連結累計期間は介護向けシステム等の実績を含み、売上高は4百万円となり、営業損失は141百万円となりました。

## ③ITソリューション事業

ITソリューション事業につきましては、建設業向けにはSaasシステム「ARCHITREND Do!Photo」の販売を強化し、報道機関向け出口調査システム「OneClickCounter」も首長選などで幅広く利用されました。この結果、売上高は28百万円となり、営業損失は57百万円となりました。

## ④その他の事業

その他の事業では、スクール事業などにより売上高61百万円、営業損失6百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、7,770百万円となり、前連結会計年度末より844百万円減少しました。主な要因は、売上債権の減少及び期末配当金の支払いにより現金及び預金が減少したことによります。

また、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は（以下「資金」）は、前連結会計年度末より327百万円減少し851百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、273百万円となっております。主な要因としましては、売上債権の減少額447百万円、減価償却費170百万円の計上等による増加と、たな卸資産117百万円の増加等による減少によるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、323百万円となっております。主な要因としましては、投資有価証券の取得に伴う支出305百万円によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は、277百万円となっております。主な要因としましては、配当金の支払277百万円によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間における業績の進捗や今後の市場環境を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成20年5月15日に発表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。当該予想に関する詳細は、本日(平成20年11月14日)発表の「業績予想の修正に関するお知らせおよび平成21年3月期配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

#### ① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

#### ② 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

#### ③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純損失に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,346	1,703
受取手形及び売掛金	891	1,338
有価証券	10	10
商品及び製品	32	35
仕掛品	65	6
原材料及び貯蔵品	81	20
その他	196	209
貸倒引当金	△5	△8
流動資産合計	2,619	3,316
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,032	2,044
土地	1,003	1,003
その他(純額)	76	84
有形固定資産合計	3,113	3,132
無形固定資産		
のれん	83	94
その他	193	258
無形固定資産合計	276	352
投資その他の資産		
投資有価証券	925	889
その他	842	928
貸倒引当金	△6	△5
投資その他の資産合計	1,761	1,812
固定資産合計	5,150	5,297
資産合計	7,770	8,614

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	66	61
未払法人税等	29	141
前受金	1,125	1,037
賞与引当金	103	188
その他	428	646
流動負債合計	1,752	2,075
固定負債		
長期未払金	144	145
固定負債合計	144	145
負債合計	1,897	2,220
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,631	1,631
資本剰余金	2,861	2,861
利益剰余金	1,822	2,266
自己株式	△365	△365
株主資本合計	5,950	6,394
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△85	△8
為替換算調整勘定	7	7
評価・換算差額等合計	△77	△0
純資産合計	5,872	6,393
負債純資産合計	7,770	8,614

(2) 四半期連結損益計算書  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	3,283
売上原価	684
売上総利益	2,599
販売費及び一般管理費	2,548
営業利益	50
営業外収益	
受取配当金	7
受取保険金	10
その他	16
営業外収益合計	35
営業外費用	
賃貸費用	2
投資事業組合運用損	21
その他	2
営業外費用合計	27
経常利益	59
特別損失	
固定資産除却損	2
投資有価証券評価損	90
特別損失合計	92
税金等調整前四半期純損失(△)	△33
法人税、住民税及び事業税	16
法人税等調整額	116
法人税等合計	133
四半期純損失(△)	△166

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純損失(△)	△33
減価償却費	170
賞与引当金の増減額(△は減少)	△85
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△38
投資有価証券評価損益(△は益)	90
売上債権の増減額(△は増加)	447
たな卸資産の増減額(△は増加)	△117
前受金の増減額(△は減少)	88
その他	△131
小計	390
利息及び配当金の受取額	11
法人税等の支払額	△127
営業活動によるキャッシュ・フロー	273
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△390
定期預金の払戻による収入	420
有形固定資産の取得による支出	△57
無形固定資産の取得による支出	△23
投資有価証券の取得による支出	△305
投資有価証券の売却による収入	25
その他	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△323
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
自己株式の取得による支出	△0
配当金の支払額	△277
財務活動によるキャッシュ・フロー	△277
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△327
現金及び現金同等物の期首残高	1,178
現金及び現金同等物の四半期末残高	851

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

	建設業系 CAD事業 (百万円)	メディカル フィットネ ス事業 (百万円)	I T ソリューション事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	3,189	4	28	61	3,283	—	3,283
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,189	4	28	61	3,283	—	3,283
営業利益又は営業 損失(△)	533	△141	△57	△6	327	△276	50

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
建設業系CAD事業	建築CADソフトウェア、測量CADソフトウェア、土木CADソフトウェア等
メディカルフィットネス事業	フィットネス機器、その他ジム用機器等
I Tソリューション事業	選挙出口調査システム、CAD以外のシステム開発等
その他の事業	てなわん宿泊予約、CADスクール等

3. 従来、事業の種類別セグメント情報は、CADソフトウェア関連事業の売上高、営業利益及び資産の金額が全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため記載を省略しておりましたが、第1四半期連結会計期間より当社にメディモ事業部を新設し販売を開始したこと及びI Tソリューション事業の重要性が増したことに伴い、当第2四半期連結会計期間より事業の種類別セグメントを建設業系CAD事業、メディカルフィットネス事業、I Tソリューション事業、その他の事業に区分して開示しております。

b. 所在地別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



## 「参考資料」

## 前年同四半期に係る財務諸表

## (1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額 (百万円)	百分比 (%)
I 売上高		3,657 100.0
II 売上原価		694 19.0
売上総利益		2,963 81.0
III 販売費及び一般管理費		2,614 71.5
営業利益		348 9.5
IV 営業外収益		
1 受取配当金	12	
2 保険金収入	2	
3 投資事業組合収益	4	
4 その他	16	35 1.0
V 営業外費用		
1 支払利息	1	
2 貸貸損失	4	
3 その他	1	7 0.2
経常利益		376 10.3
VI 特別損失		
1 固定資産除却損	0	
2 減損損失	13	14 0.4
税金等調整前中間純利益		362 9.9
法人税、住民税及び事業税	133	
法人税等調整額	27	161 4.4
中間純利益		201 5.5

## (2) 販売の状況

品目別の売上高は次のとおりであります。

品 目	前中間連結会計期間
	金 額 (百万円)
製 品 建築CADソフトウェア	1,810
測量CADソフトウェア	814
土木CADソフトウェア	509
サポートサービス	203
その他	184
小 計	3,521
商 品 ハードウェア	136
小 計	136
合 計	3,657